

スライド作成とプレゼンテーション練習、発表の工夫 (Sunshine English Course 2 Our Project 5 こんな人になりたい)

①話・発

①統合

②個・発

②評価

③タブ

【ここがポイント！】

④Google スライド

①「Google スライドの活用の工夫」

ALT と JTE がなりたい人物について生徒に紹介し、生徒も自分たちがなりたい人物を決める。次に、タブレットを使ってその人物の特徴や名言などを調べる。調べたことをもとに英文を作成する。最後に、個人でスライドに画像を張り付けたり、文字を打ち込んだりしてプレゼンテーション資料を作成する。

②「練習・発表の工夫」

個人で作成したプレゼンテーションの資料をタブレットで見せながらペアで練習をし、感想（良かった点や改善点など）を言い合う。発表の際には、プレゼンテーションの資料を自分で操作しながら、電子黒板を使って発表を行う。

【実践の目標】

- 自分のなりたい人物の英文とプレゼンテーション資料を作成し、発表することができる。
- プレゼンテーション資料を効果的に見せながら、聞き手の理解を確認しつつ内容を整理して、自分のなりたい人物を分かりやすく伝えることができる。

【実際の場面】

1. 自分のなりたい人物を決める

ALT と JTE からなりたい人物についての紹介を聞いた後、教科書教材の「エジン」について調べて作成したポスターを読み、自分がなりたい人物を決めた。

2. 評価基準を生徒に示す

「思考・判断・表現」と「主体的に学習に取り組む態度」の観点で、評価基準を事前に示した。

3. インターネットでなりたい人物の情報を収集する
なりたい人の特徴や名言などをインターネットで情報収集した。

1. 本人の人物	人物の紹介
2. 本人の人物の職業	アイドル
3. 具体的な内容 (エピソードなど)	中3の時にAKB48に入団し、デビューした。デビューしてからは、たくさんのファンから愛され、ライブやコンサートで活躍している。また、テレビ番組にも出演している。将来は、女優や歌手としても活躍したい。
4. 本人のなりたい理由 (具体的な理由など)	自分の好きな音楽を聴かせたい。また、多くのファンから愛されたい。

4. 3で調べた情報を整理する

3を基に「具体的な内容(エピソードなど)」と「その人物から学べること(名言など)」をまとめた。

5. プレゼンテーションの英文を作成する

4で作成した情報を基に、英文を作成した。分からない単語や発音は辞書や翻訳ソフトで調べた。

6. プレゼンテーションの画像等を張り付ける

スライドに画像を張り付けたり、文字を打ち込んだりしてプレゼンテーション資料を作成した。

7. プレゼンテーションの練習をする

タブレットを操作しながら、個人・ペアで練習を行った。ペアの練習では、お互いに感想(良かった点や改善点など)を言い合った。

8. プレゼンテーションを行い、相互評価を行う

プレゼンテーション資料を操作しながら、電子黒板を使って、ALT と生徒の前で発表した。聞いている生徒は、発表者の評価と感想を書き、良かった生徒上位3名を決めた。最後に「自分が頑張ったことと次に頑張ること」を記入させた。ALT と JTE は、「思考・判断・表現力」と「主体的に学習に取り組む態度」の観点で評価をした。

【成果と課題】

【成果】

- タブレットを用いることで、自分のなりたい人物の特徴や名言、英語の単語や表現・発音などを自主的に調べることができた。
- 生徒がタブレットの操作に慣れてきたため、工夫をしてプレゼンテーション資料を作成することができ、より良いプレゼンテーションをしたいという意欲が高まった。
- 生徒が英文を打ち込む中で、文法指導をしたり発音の指導をしたりすることができた。
- プレゼンテーションの資料に写真や文字があるため、聞いている生徒も内容が理解できた。

【課題】

- 個人・ペアで練習をすることができたが、十分に英文添削や発音指導に時間を費やすことができなかった。
- 生徒のプレゼンテーション資料の作成に時間がかかったため、紹介文を覚えて発表できる生徒が少なかった。(打ち込んだ英文を読む生徒が多く見られた。)
- 相手意識の評価規準が曖昧だったため、評価がぶれてしまった。

熊野町立熊野東中学校

